

2024年度 2 Q決算説明資料

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

証券コード：8242

2024年11月6日



2024年度上期業績（4-9月）

- 連結業績は、1 Q同様に2 Qも百貨店事業が業績を牽引し、総額売上高・営業利益・経常利益・当期純利益がいずれも上期最高を更新
- 百貨店事業は、堅調な国内売上、大幅伸長したインバウンド売上により増収増益
修正予想（8月公表）に対してほぼ想定通りの推移
- 食品事業は、食品スーパーの既存店売上高前年超えにより増収、営業利益はほぼ前年並み

2024年度通期見通し

- 通期予想は、上期の上振れを踏まえ営業利益、経常利益を上方修正
百貨店事業のインバウンド売上は、期初予想1,000億円から1,260億円へ修正

- 1 2024年度上期業績
- 2 2024年度通期見通し
- 3 中期経営計画（2024-2026年度）進捗
- 4 「資本コストや株価を意識した経営の実現」進捗
- 5 Appendix

本資料の記載について

- 本資料における記載金額は、億円表示の場合は億円未満を四捨五入
- 本資料における「総額売上高」は収益認識に関する会計基準適用前の数値を記載
- 2025年3月期からのグループ本社費計上区分見直しに伴い、営業外費用に計上していたグループ本社費を販売費及び一般管理費に組み換え、各セグメント営業利益及び各子会社営業利益に反映、連結全体の営業利益は変化なし
- 「親会社株主に帰属する当期（四半期・中間）純利益」は「当期純利益」と表示

1	2024年度上期業績	P.	5
2	2024年度通期見通し	P.	14
3	中期経営計画（2024-2026年度）進捗	P.	17
4	「資本コストや株価を意識した経営の実現」進捗	P.	22
5	Appendix	P.	27

- 1 Q同様に2 Qも百貨店事業が業績を牽引し、総額売上高・営業利益・経常利益・当期純利益のいずれも上期最高を更新。当期純利益は1 Qの政策保有株式売却益計上もあり大幅に増加
- 2 Qは概ね会社予想通りの推移

単位：億円

	2023年度 上期実績 (a)	2024年度 上期実績 (b)	前年増減率 (b/a)	前年増減 (b-a)	2024年度 上期予想 (c) (8/6公表)	対予想 (b vs c)
総額売上高	5,052	5,585	+10.5%	+533	5,680	▲1.7%
売上高	3,185	3,313	+4.0%	+127	3,410	▲2.9%
営業利益	99	150	+51.6%	+51	136	+14
経常利益	107	159	+49.5%	+53	138	+22
当期純利益	63	271	+330.0%	+208	254	+17

セグメント別業績-総額売上高・営業利益

単位：億円

連結 総額売上高

2024年度 上期実績	5,585億円
前年増減率	+10.5%
前年増減	+533億円



2023年度 上期実績 (a)	2024年度 上期実績 (b)	前年増減率 (b/a)	前年増減 (b-a)	2024年度 上期予想 (c) (8/6公表)	予想増減率 (b/c)
2,591	3,050	+17.7%	+459	3,032	+0.6%
2,109	2,112	+0.1%	+3	2,191	▲3.6%
158	160	+1.2%	+2	183	▲12.8%
193	263	+35.9%	+70	275	▲4.2%

連結 営業利益

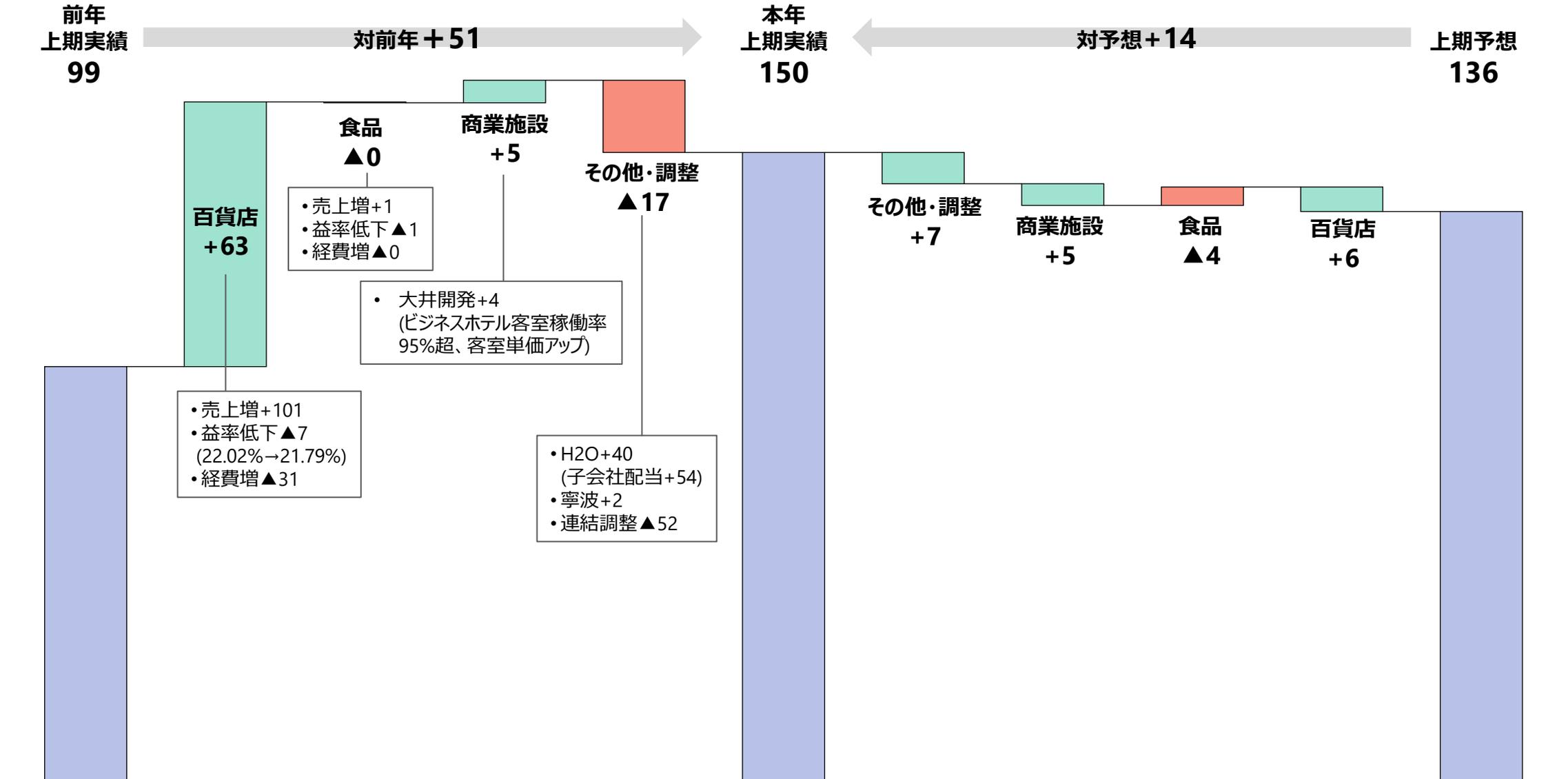
2024年度 上期実績	150億円
前年増減率	+51.6%
前年増減	+51億円



2023年度 上期実績 (a)	2024年度 上期実績 (b)	前年増減率 (b/a)	前年増減 (b-a)	2024年度 上期予想 (c) (8/6公表)	予想増減 (b-c)
63	126	+100.3%	+63	120	+6
37	37	▲0.5%	▲0	41	▲4
16	21	+34.1%	+5	16	+5
13	48	+260.9%	+34	43	+5
▲30	▲82	—	▲52	▲85	+3

セグメント別業績-営業利益増減要因

単位：億円



セグメント別業績-百貨店事業 (1/3)

- 国内売上の堅調な推移（対前年+3.2%）とインバウンド売上の急伸（対前年+400億円）により、大幅に増収増益
- 修正予想（8月公表）に対してほぼ想定通りの推移

単位：億円

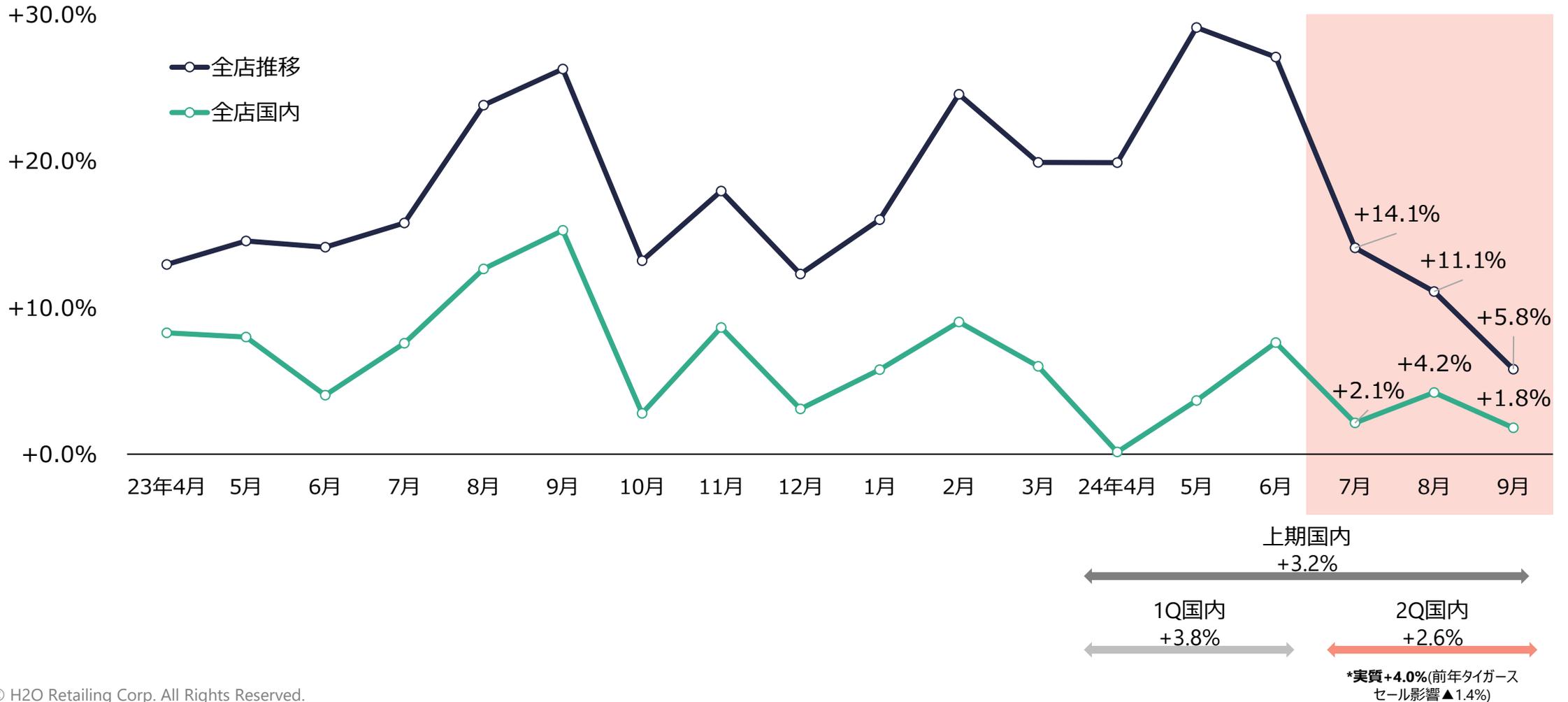
	2023年度 上期実績 (a)	2024年度 上期実績 (b)	前年増減率 (b/a)	前年増減 (b-a)	2024年度 上期予想 (c) (8/6公表)	対予想 (b vs c)		
総額売上高	2,591	3,050	+17.7%	+459	3,032	+0.6%		
売上高	813	920	+13.1%	+107	—	—		
売上総利益	571	665	+16.5%	+94	—	—		
販売管理費	508	539	+6.1%	+31	—	—	販売管理費 増減内訳	
営業利益	63	126	+100.3%	+63	120	+6	売上連動経費*	+20
							賞与等	+13
							水光熱費	▲3

*売上連動経費：販売手数料、地代家賃

セグメント別業績-百貨店事業 (2/3)

- 国内売上は、2 Q期間も引き続き前年を上回り安定的に推移 (*実質 2 Q対前年+4%) 、期初想定並みで進捗
- 阪急本店、博多阪急を中心に都心店が売上を牽引 (上期対前年+21%)

全店売上推移 (前年増減率)

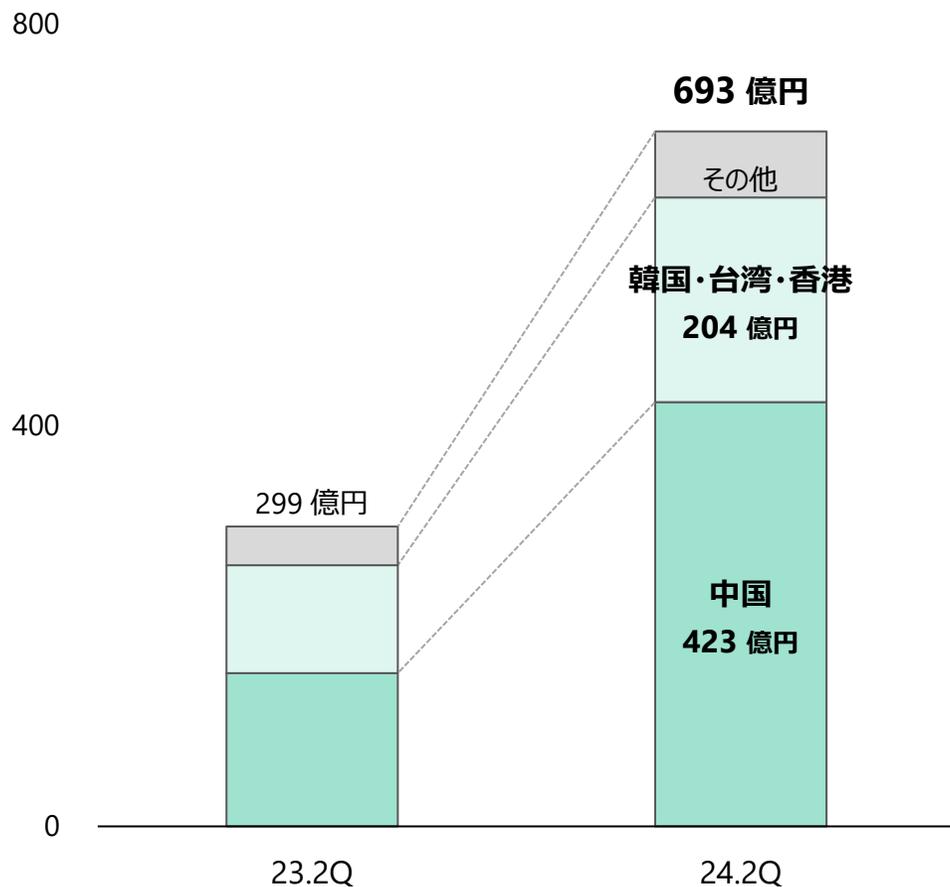


セグメント別業績-百貨店事業 (3/3)

- インバウンド売上は、1Qでの円安による追い風もあり、上期で693億円と過去最高を更新
- 直近の動向や為替変動を考慮し、下期は570億円（対前年+13%）、通期で1,260億円を見込む

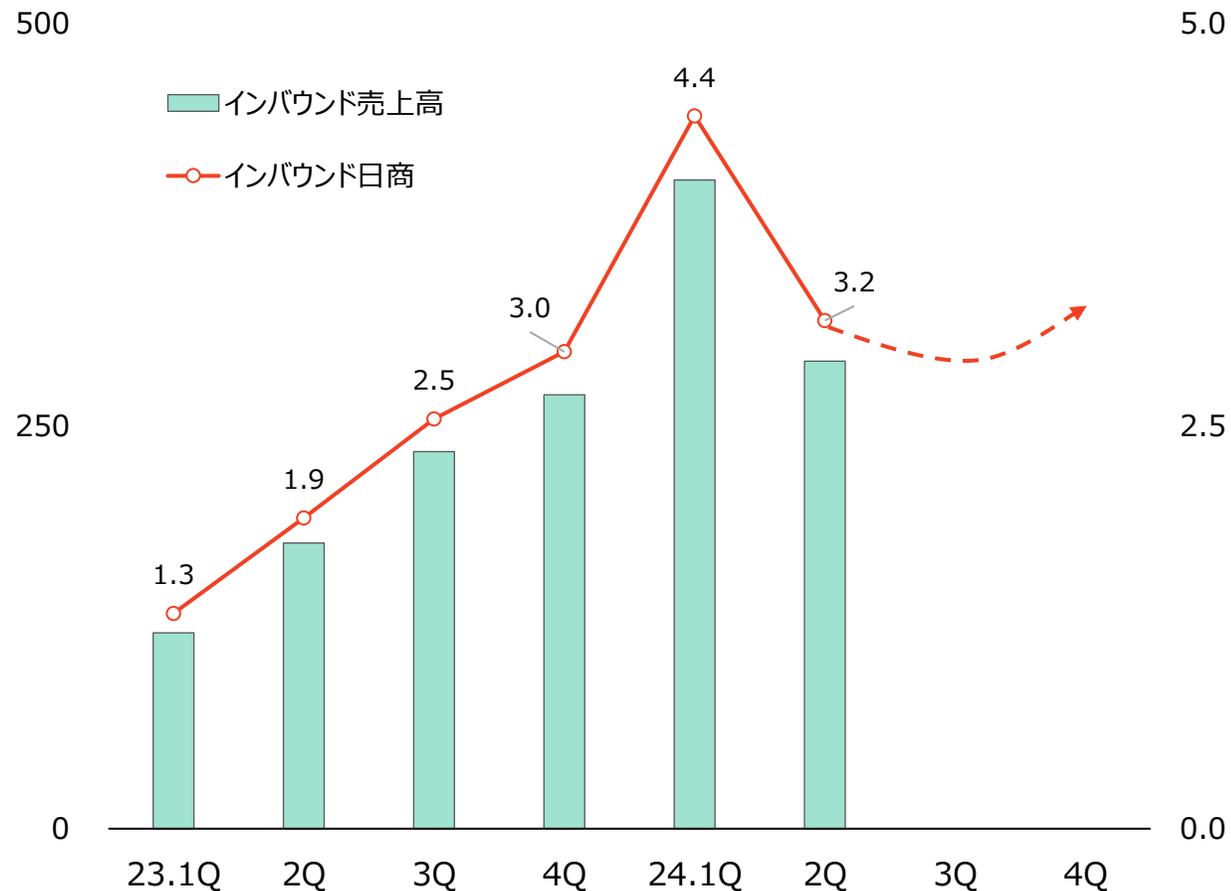
地域別インバウンド売上（上期累計）

単位：億円



インバウンド売上推移（Q別推移）

単位：億円



セグメント別業績-食品事業

- 食品スーパーは、買上点数の減少により客単価低下も、客数堅調により既存店売上高は前年超え
営業利益は人件費が増加もほぼ前年並み
- 食品製造・宅配は、惣菜を中心に食品製造が好調、不採算子会社の事業終了もあり減収

単位：億円

総額売上高	
2024年度 上期実績	2,112億円
前年増減率	+0.1%
前年増減	+3億円

	2023年度 上期実績 (a)	2024年度 上期実績 (b)	前年増減率 (b/a)	前年増減 (b-a)	2024年度 上期予想 (c) (8/6公表)	予想増減率 (b/c)
イズミヤ・ 阪急オアシス	1,321	1,318	▲0.2%	▲3	1,369	▲3.7%
関西スーパー マーケット	662	663	+0.2%	+2	668	▲0.7%
食品製造・ 宅配	200	192	▲4.3%	▲9	—	—

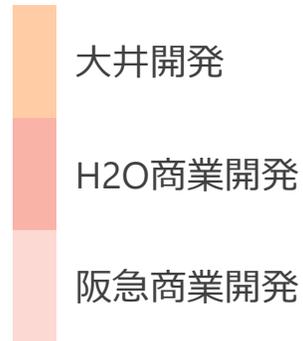
営業利益	
2024年度 上期実績	37億円
前年増減率	▲0.5%
前年増減	▲0億円

	2023年度 上期実績 (a)	2024年度 上期実績 (b)	前年増減率 (b/a)	前年増減 (b-a)	2024年度 上期予想 (c) (8/6公表)	予想増減 (b-c)
イズミヤ・ 阪急オアシス	25	24	▲3.3%	▲1	35	▲11
関西スーパー マーケット	18	16	▲10.8%	▲2	16	+0
食品製造・ 宅配	▲6	▲4	—	+1	—	—

- 大井開発は運営するビジネスホテル（アワーズイン阪急）が好調に推移し増収。H2O商業開発は店舗減により減収
- アワーズイン阪急は客室稼働率が95%超え、客室単価も上昇し増益

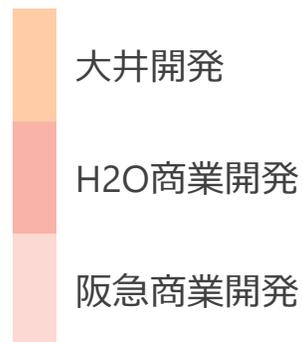
単位：億円

総額売上高	
2024年度 上期実績	160億円
前年増減率	+1.2%
前年増減	+2億円



	2023年度 上期実績 (a)	2024年度 上期実績 (b)	前年増減率 (b/a)	前年増減 (b-a)
大井開発	30	35	+17.5%	+5
H2O商業開発	124	118	▲5.4%	▲7
阪急商業開発	23	25	+7.8%	+2

営業利益	
2024年度 上期実績	21億円
前年増減率	+34.1%
前年増減	+5億円



	2023年度 上期実績 (a)	2024年度 上期実績 (b)	前年増減率 (b/a)	前年増減 (b-a)
大井開発	12	16	+32.6%	+4
H2O商業開発	3	2	▲36.0%	▲1
阪急商業開発	2	3	+82.8%	+2

1	2024年度上期業績	P.	5
2	2024年度通期見通し	P.	14
3	中期経営計画（2024-2026年度）進捗	P.	17
4	「資本コストや株価を意識した経営の実現」進捗	P.	22
5	Appendix	P.	27

2024年度通期見通し-連結業績

- 通期予想は、上期の上振れを踏まえ営業利益、経常利益を上方修正

単位：億円

	2023年度 通期実績	2024年度 通期予想 8/6公表	2024年度 通期予想 11/6公表	増減		2024年度 下期予想 8/6公表	2024年度 下期予想 11/6公表	増減
	(a)	(b)	(c)	(c-a)	(c-b)	(d)	(e)	(e-d)
総額売上高	10,739	11,750	11,550	+811	▲200	6,070	5,965	▲104
売上高	6,574	7,020	6,820	+246	▲200	3,610	3,507	▲103
営業利益	262	295	310	+48	+15	159	160	+1
経常利益	279	300	320	+41	+20	162	161	▲2
当期純利益	219	300	300	+81	+0	46	29	▲17

2024年度通期見通し-セグメント別

単位：億円

連結 総額売上高	
2024年度 通期予想	11,550億円
前年増減率	+7.6%
前年増減	+811億円



2023年度 通期実績 (a)	2024年度 通期予想 8/6公表 (b)	2024年度 通期予想 11/6公表 (c)	増減	
			(c/a)	(c-b)
5,771	6,267	6,285	+8.9%	+18
4,256	4,449	4,300	+1.0%	▲149
321	380	327	+2.0%	▲53
390	655	638	+63.3%	▲17

連結 営業利益	
2024年度 通期予想	310億円
前年増減率	+18.4%
前年増減	+48億円



2023年度 通期実績 (a)	2024年度 通期予想 8/6公表 (b)	2024年度 通期予想 11/6公表 (c)	増減	
			(c/a)	(c-b)
196	255	261	+65	+6
71	98	94	+23	▲4
32	33	38	+6	+5
▲0	▲3	2	+2	+5
▲37	▲88	▲85	▲47	+4

1	2024年度上期業績	P.	5
2	2024年度通期見通し	P.	14
3	中期経営計画（2024-2026年度）進捗	P.	17
4	「資本コストや株価を意識した経営の実現」進捗	P.	22
5	Appendix	P.	27

方針	2024年度上半期の進捗
「国内顧客・店舗ビジネス」の深化	百貨店事業は重点顧客のLTV最大化に向けて変革やサービス開発を推進、食品事業などは経営資源の最適化のための取り組みを遂行
「海外顧客ビジネス」への注力・強化	高いポテンシャルに対応可能な体制を整備、取り組みを本格化
新たな収益源の開発・展開	顧客サービスビジネスは着実に進展、顧客データ活用に向けたテストを開始
グループインフラ整備・利活用	IT/DXは事業における実装と利活用のための準備を継続 人材戦略に基づき価値創造を促進するための人事施策をグループ横断で推進 当社グループならではの地域共創活動を一層強化、環境対策を具体的に推進

■ 重点顧客のLTV最大化に向けて、体制を整備、取り組みを本格化

海外富裕層対応（百貨店）

パーソナルコミュニケーション

- 海外VIPアテンドスタッフは外国語人材を積極採用し増強（今年度中に50人を計画）
- 阪急うめだ本店にVIP専用の海外顧客サービスコーナーを新設し対応を拡充（お買い物アテンドサービス、各種ご相談対応など）

顧客開拓

- 海外の富裕層顧客を会員に持つさまざまなビジネスパートナーとのアライアンスをスタートし、顧客プログラムの連携による新規海外富裕層顧客の来店促進強化

百貨店事業

デジタルとリアルでのコミュニケーションによるLTVの最大化

- 阪急うめだ本店の体験型VIPサロンは個室設備など当初より機能を追加し2025年2月にオープン予定
- UXを向上し顧客との関係を深めるため、「H2O ID」で登録する新予約システムを開始
（新予約システム登録者数 約4万人 / H2O ID数 約24万人 ※9月末時点）

集客力強化と事業構造の見直しにより店舗の収益力アップ

- 阪神梅田本店は集客力の高い大型専門店を2025年春頃に導入予定で進行中
- 「川西阪急スクエア」へのリモデルは2025年春頃のオープンに向けて進行中

食品事業

- 関西フードマーケットの完全子会社化完了、食品スーパーのシナジー追求に向けて営業本部・本社機能を統合

グループインフラ整備・利活用

- 人材戦略に基づき価値創造を促進するための人事施策をグループ横断で推進
- 当社グループならではの地域共創活動を一層強化、環境対策を具体的に推進

人材育成・開発・投資

- ・ 新市場や新事業モデルを探索するためのスピリッツ・着想・スキル・行動力を学ぶ「H2O未来探索塾」を開催
- ・ グループ内の相互理解やシナジー発揮を促進するため、グループ合同で新入社員や新任管理職の研修を開始
- ・ グループ横断の人材データ基盤の整備とタレントマネジメント情報の収集・蓄積を推進

サステナビリティ経営

大阪府との包括連携協定に基づく取り組み

- ・ 地域共創型サーキュラーエコノミーの実現とサステナブルファッション・プラットフォームの構築を目指し、環境省のモデル実証事業「^オHO^ホ CYCLE PROJECT」を開始
- ・ 「大阪 森の循環促進プロジェクト」の一環として「想うベンチ —いのちの循環—」の取り組みを本格化
大阪府産木材を使ったベンチの製作を進め、体験プログラムの提供や府民によるWEBメディアをスタート

環境対策

- ・ GHG排出量の削減目標達成に向け「再エネ化」を段階的に推進（2023年度は2019年度比12%削減）
阪急うめだ本店・西宮阪急・イズミヤSC西宮ガーデンズでは使用電力の100%を再エネ化済み

- 2024年度予想は当初想定を上回り、ROEは10.8%となる見込みも、実質ROEは6.2%に留まる中期経営計画の着実な遂行により、2026年度目標数値の達成を目指す

2024年度通期連結数値目標

単位：億円

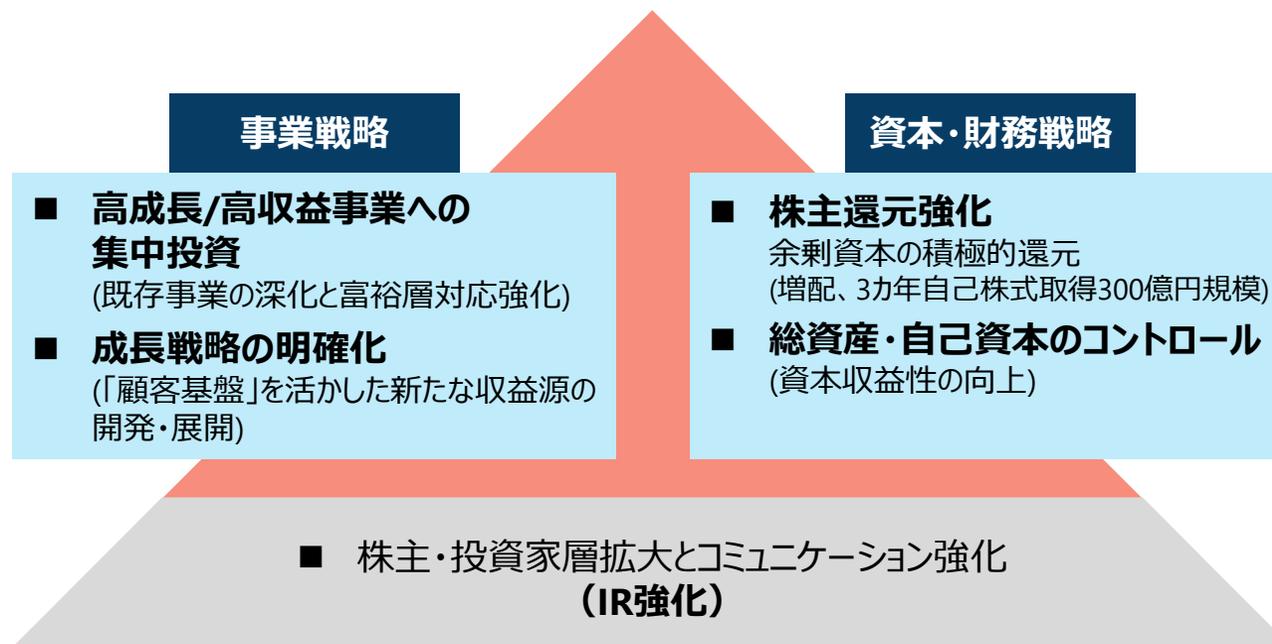
	2024年度 予想 5/15公表	▶	2024年度 予想 11/6公表	増減	2026年度 予想
総額売上高	11,625		11,550	▲75	
営業利益	265		310	+45	320
当期純利益	260		300	+40	
ROE	9.6%		10.8%	+1.2pt	6.6%以上
実質ROE*	5.1%		6.2%	+1.1pt	
ROIC	4.7%		5.4%	+0.7pt	5.9%

*資産売却などの特別利益や税効果を除く

1	2024年度上期業績	P.	5
2	2024年度通期見通し	P.	14
3	中期経営計画（2024-2026年度）進捗	P.	17
4	「資本コストや株価を意識した経営の実現」進捗	P.	22
5	Appendix	P.	27

現状分析と今後の取り組み

- PBRは一時1.0倍超を達成も、直近では0.8倍程度に留まり、PERが低位で推移（7.5~8.0倍）
- PERの改善に向け、2024年5月に開示した事業戦略の具現化・株主還元強化策の実行に加え、IR強化を推進



直近

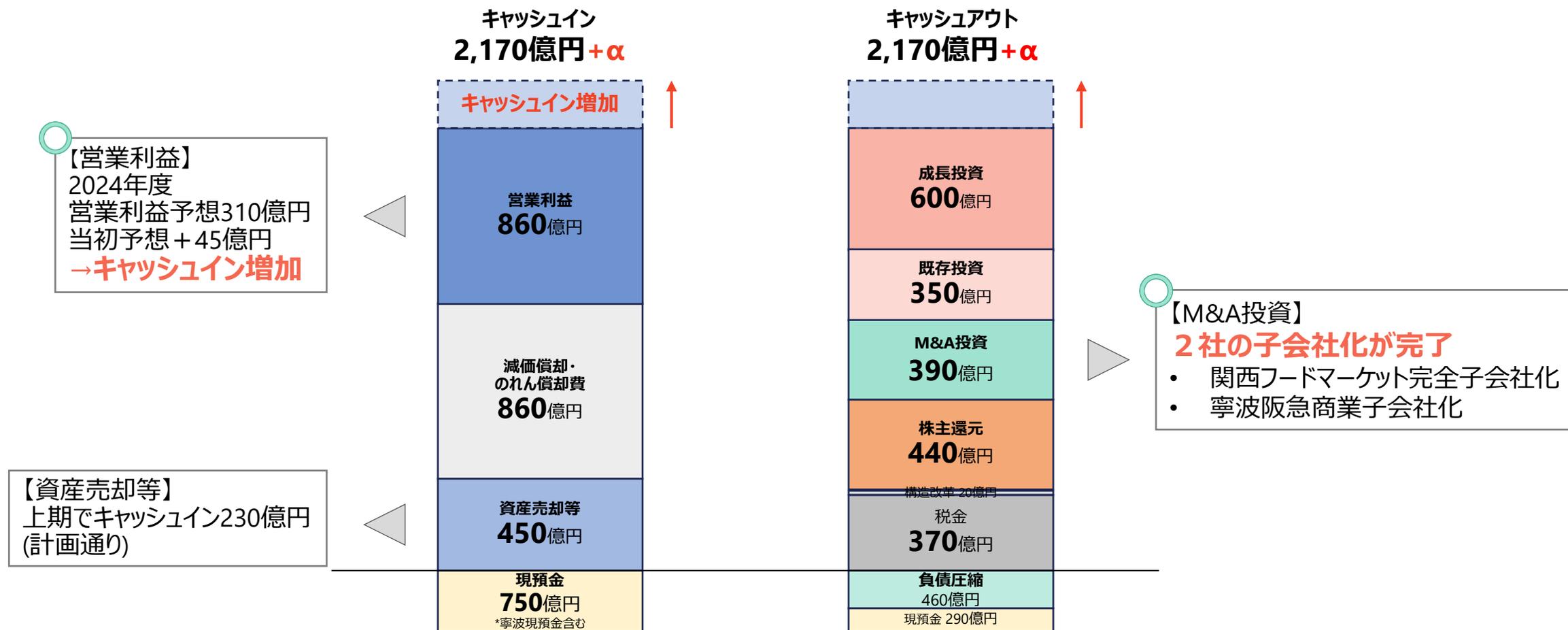
$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{PBR} & = & \text{ROE} & \times & \text{PER} \\
 \mathbf{0.8\text{倍程度}} & = & \mathbf{10\%程度} & \times & \mathbf{7.5\sim 8.0\text{倍}}
 \end{array}$$

将来

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{PBR} & = & \text{ROE} & \times & \text{PER} \\
 \mathbf{1.2\text{倍超}} & = & \mathbf{8\%以上} & \times & \mathbf{15\text{倍超}}
 \end{array}$$

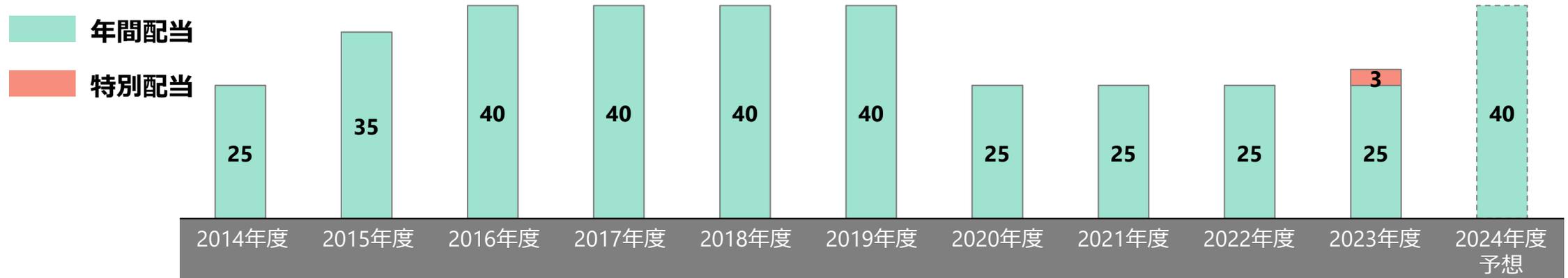
キャッシュフロー・アロケーション（2024-2026年度）

- キャッシュイン）好業績に伴い想定から上振れの見込み
- キャッシュアウト）M&A（子会社化）は完了、業績推移を見極め、適宜株主還元や成長投資を追加充当する方針



- 2024年度の配当予想は当初予定通り年間40円
- 5月実施の自己株式取得の一環であるASR取引における市場買付取引が完了後に、今年度の自己株式取得を検討

1株当たり配当金額推移（円）



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 予想
自己株式取得（億円）	35	0	0	0	0	0	0	5	89	19	未定
総還元性向*	54%	26%	32%	34%	229%	—	—	36%	73%	22%	14%
配当性向	26%	31%	35%	34%	229%	—	—	31%	18%	15%	16%
株主資本配当率（DOE）	1.5%	1.7%	2.0%	2.1%	2.0%	2.1%	1.9%	1.6%	1.5%	1.3%	1.8%

株主還元方針

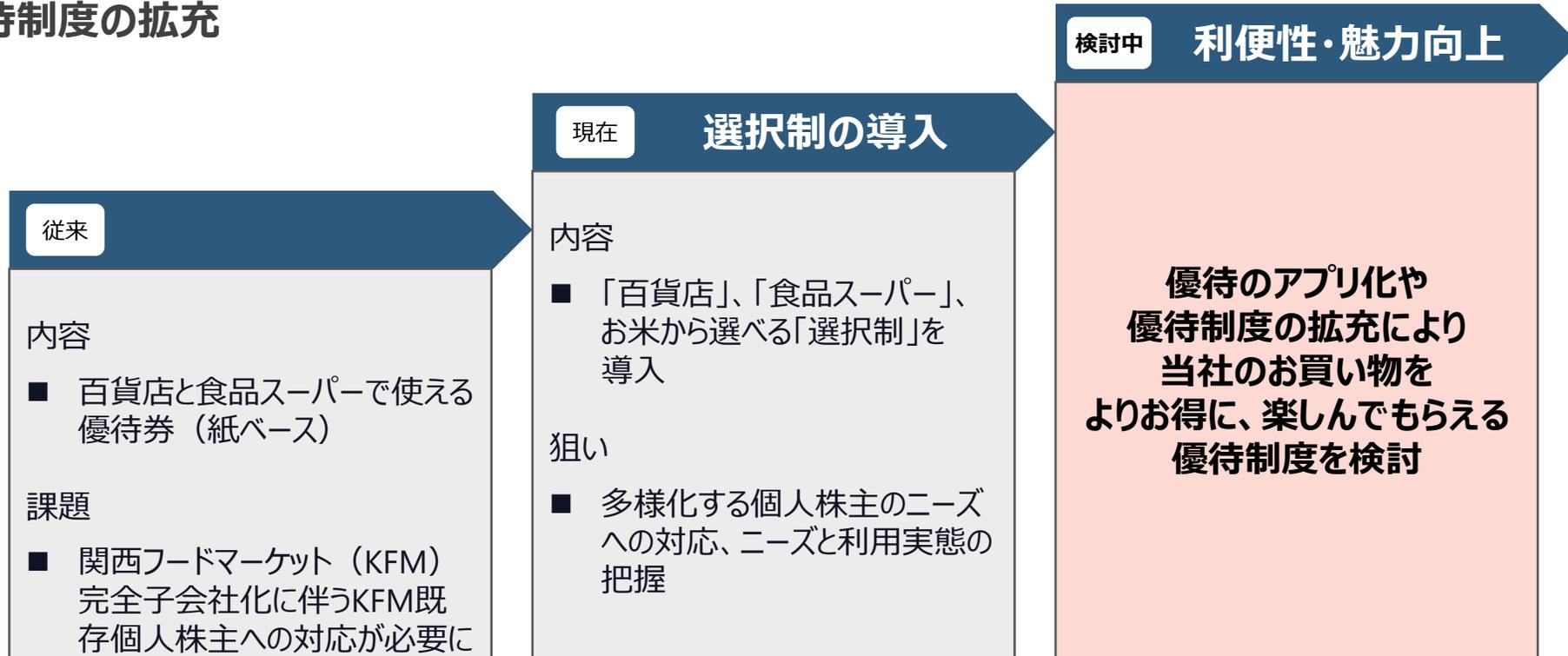
1株当たり年間配当額25円を維持し、長期的に配当性向30~40%を目指す

原則DOE1.8%以上を配当基準とし、業績に応じて機動的な株主還元を実施
自己株式取得は2024~2026年度で300億円規模（3カ年累計総還元性向60%以上に相当）

*総還元性向の配当支払総額は前年期末配当 + 当期中間配当で計算

- 投資家層の拡大に向け、株主優待の利便性向上・ファン株主拡大施策を具体化

株主優待制度の拡充



ファン株主拡大施策の実施

2025年に阪急うめだ本店にて個人投資家向けのイベントを実施予定

1	2024年度上期業績	P.	5
2	2024年度通期見通し	P.	14
3	中期経営計画（2024-2026年度）進捗	P.	17
4	「資本コストや株価を意識した経営の実現」進捗	P.	22
5	Appendix	P.	27

単位：億円

	2023.1Q	2023.2Q	2023.3Q	2023.4Q	2024.1Q	対前年	2024.2Q	対前年
総額売上高	2,447	2,605	2,965	2,722	2,764	+13.0%	2,821	+8.3%
売上高	1,548	1,637	1,769	1,619	1,619	+4.6%	1,694	+3.4%
営業利益	48	51	123	40	93	+45	57	+6
経常利益	52	55	133	40	102	+50	57	+3
当期純利益	34	29	115	41	265	+231	6	▲23

セグメント別業績推移

単位：億円

	2023.1Q	2023.2Q	2023.3Q	2023.4Q	2024.1Q	対前年	2024.2Q	対前年
百貨店	1,235	1,356	1,655	1,525	1,554	+25.8%	1,496	+10.3%
食品	1,031	1,078	1,127	1,020	1,034	+0.3%	1,078	▲0.0%
商業施設	81	77	86	77	82	+1.8%	78	+0.5%
その他	100	93	96	101	94	▲6.3%	169	+81.2%
総額売上高	2,447	2,605	2,965	2,722	2,764	+13.0%	2,821	+8.3%
百貨店	29	34	90	44	80	+50	47	+13
食品	16	21	29	5	15	▲1	21	+1
商業施設	9	7	10	6	13	+4	8	+1
その他	22	▲8	1	▲14	66	+44	▲18	▲10
調整額	▲29	▲1	▲7	▲0	▲82	▲53	▲0	+1
営業利益	48	51	123	40	93	+45	57	+6

2024年度連結下期見通し

単位：億円

	2023年度 下期実績 (a)	2024年度 下期予想 8/6公表 (b)	2024年度 下期予想 11/6公表 (c)	増減	
				(c vs a)	(c-b)
総額売上高	5,687	6,070	5,965	+4.9%	▲104
売上高	3,389	3,610	3,507	+3.5%	▲103
営業利益	163	159	160	▲3	+1
経常利益	172	162	161	▲12	▲2
当期純利益	156	46	29	▲127	▲17

2024年度下期見通し-セグメント別

単位：億円

連結 総額売上高

2024年度 下期予想	5,965億円
前年増減率	+4.9%
前年増減	+279億円



2023年度 下期実績 (a)	2024年度 下期予想 8/6公表 (b)	2024年度 下期予想 11/6公表 (c)	増減	
			(c/a)	(c-b)
3,180	3,235	3,235	+1.7%	+0
2,147	2,258	2,188	+1.9%	▲70
162	196	167	+2.8%	▲29
197	380	375	+90.1%	▲5

連結 営業利益

2024年度 下期予想	160億円
前年増減率	▲1.8%
前年増減	▲3億円



2023年度 下期実績 (a)	2024年度 下期予想 8/6公表 (b)	2024年度 下期予想 11/6公表 (c)	増減	
			(c-a)	(c-b)
133	135	135	+2	+0
34	57	57	+23	+0
16	17	17	+1	+0
▲13	▲46	▲46	▲33	+0
▲7	▲4	▲3	+4	+1

百貨店事業-2024年度上期業績

単位：億円

	2023年度	2024年度	対前年	2023年度	2024年度	対前年	2023年度	2024年度	対前年
	1Q実績	1Q実績		2Q実績	2Q実績		上期実績	上期実績	
総額売上高	1,235	1,554	+25.8%	1,356	1,496	+10.3%	2,591	3,050	+17.7%
売上高	383	457	+19.6%	431	463	+7.4%	813	920	+13.1%
売上総利益	274	338	+64	297	327	+30	571	665	+94
販売管理費	244	259	+14	263	280	+17	508	539	+31
営業利益	29	80	+50	34	47	+13	63	126	+63

個別業績-株式会社阪急阪神百貨店 (収益認識基準適用前)

単位：百万円

	2023年度 1Q実績			2024年度 1Q実績			対前年	2023年度 2Q実績	2024年度 2Q実績			対前年	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績			対前年
総額売上高	122,734	154,535	+25.9%	134,745	148,700	+10.4%		257,479	303,235	+17.8%							
売上総利益	27,599	34,116	+6,517	29,805	32,854	+3,049		57,404	66,971	+9,566							
(売上総利益率)	22.49%	22.08%	▲0.41pt	22.12%	22.09%	▲0.03pt		22.29%	22.09%	▲0.21pt							
その他の営業収入	967	1,035	+68	1,000	1,054	+53		1,968	2,090	+122							
販売管理費	25,634	27,174	+1,540	27,473	29,311	+1,838		53,107	56,486	+3,378							
(販売管理費率)	20.89%	17.58%	▲3.30pt	20.39%	19.71%	▲0.68pt		20.63%	18.63%	▲2.00pt							
営業利益	2,932	7,977	+5,045	3,332	4,597	+1,264		6,265	12,575	+6,310							
(営業利益率)	2.39%	5.16%	+2.77pt	2.47%	3.09%	+0.62pt		2.43%	4.15%	+1.71pt							

営業外損益・特別損益

単位：億円

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年増減	主な内容
営業利益	99	150	+51	
営業外損益	8	9	+2	<ul style="list-style-type: none"> 受取配当金の増加 +4 為替差益の増加 +2 持分法による投資利益の増加 +3 子会社株式取得関連費用の増加 ▲7
経常利益	107	159	+53	
特別損益	▲2	244	+246	<ul style="list-style-type: none"> 投資有価証券売却益の増加 +142 段階取得に係る差益の増加 +80 固定資産売却益の増加 +17 固定資産除却損の減少 +4
税引前利益	105	403	+299	
法人税、非支配株主損益	42	133	+91	
当期純利益	63	271	+208	

設備投資

単位：億円

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	主な内容	2024年度 通期予想
百貨店	44	19	阪急本店改装	53
食品	38	39	SM店舗投資	85
商業施設	10	10	SC店舗改装・ビジネスホテル改修工事	23
その他	77	69		163
IT・DX	60	60	POS、データインフラ整備	101
寧波	—	6	寧波阪急リモデル	51
連結合計	168	132		324

減価償却費

単位：億円

	2023年度 上期実績	2023年度 通期実績	2024年度 上期実績	前年増減
連結合計	95	199	104	+9

発表日	内容
4月16日	<u>投資有価証券の売却に伴う特別利益の計上に関するお知らせ</u>
5月15日	<u>新たな中期経営計画（2024-2026年度）を策定</u>
5月15日	<u>「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」を開示</u>
5月15日	<u>当社による株式会社関西フードマーケットの完全子会社化に関する株式交換契約締結のお知らせ</u>
5月15日	<u>自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ</u>
5月16日	<u>自己株式の取得結果及び取得終了に関するお知らせ</u>
7月26日	<u>株式会社関西フードマーケットの上場廃止に関するお知らせ</u>
8月6日	<u>2025年3月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正並びに特別利益の計上に関するお知らせ</u>

本資料に記載された情報については、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いませんので、ご承知おき下さい。

また、本資料の著作権は全て当社に帰属し、著作権法に定める私的利用の範囲を超えて無断で、複写・転載等することを禁じます。